

卒業後の進路 ②

今回は就職について話しました。今回は進学の場合の選択肢についてです。個々についての詳しい紹介は改めて行いますので、今日は大まかな点のみということ。

全日制高校

進学ということばを聞いて君たちがイメージするのは、全日制の高校だと思います。全日制高校というのは、みんなが中学校に通っているのと同じように昼間に行く高校のことを指します。

公立高校

全日制高校は大きく(国)公立と私立に分かれます。国立は国が設置をした高校で、大阪府には大阪教育大学の附属高校が3校、京都府には京都教育大学附属高校があります。公立高校は大阪府立、大阪市立、堺市立、岸和田市立の高校があります。国公立高校の場合、受験をして合格をしたときは原則として入学辞退はできません。また将来引越しの予定がある場合等を除き、公立高校で受験が可能なのは大阪府内の学校に限られます。国立高校の場合は、学校により通学が可能な範囲でなどという制限はありますが、受験に関して居住地に制約はありません。

公立高校には普通科以外にもさまざまな専門学科があり、特色あるカリキュラムが用意されています。その内容をよく知らずになんとなく受験をすると、入学した後で「こんなはずじゃなかった。」などということになりかねません。

明日は第1回進路希望調査の提出締め切り日です！！

枚方市立招提北中学校
3年学習進路部
20. 6.23.Tue.
第6号



力ある巣立ちのために

公立高校の大きな特徴として、私立高校に比べて学費が安くすむということが言えます。授業料無償化の制度があるとはいえ、入学金や施設、修学旅行費、教材費など、私立高校での学費の負担はまだまだ大きいものがあります。半面、学校施設に関しては、公立高校ではどこでも同じ水準にならざるを得ず、特色ある環境を望むのは難しいといえます。

私立高校

私立高校を選択するメリットとしてあげられるのは、何と言っても私立高校は自由に教育を行うことができるという点でしょう。公立でも前述のように専門学科によって独自性のある教育が行われていますが、あくまでも厳密に決められた枠組みの中での教育に限られます。その点、私立高校では公立のような制約からは自由なカリキュラムが用意されています。自分が本当にやる気があって施設やプログラムがその目的に合致するなら、より充実した高校生活を送ることが可能になるでしょう。

また制度として、全国どこの学校を受験することもできます。ただし、大阪や京都の私立高校は、概ね同じ日程で入試が行われます。受験の方法として専願受験と併願受験があり、併願の場合は合格しても実際に入学するかどうかは自由に選択ができます。